

2月15日 No.2447
 2010年(平成22年)
 週刊 月曜発行
 発行人 小田 太一
 昭和41年9月22日 第3種郵便物認可
 購読料 年間 25,000円(前納)
 1部 530円

包装タイムス

THE HOSO TIMES

卓上型エアークッション製造機

クッションボーイ
 必要な時 必要な数だけ その場で出来る



司化成工業株式会社
 本社 〒110-0015 東京都台東区東上野1-11-4 (丸一東上野ビル5F)
 TEL.03(3835)0531 FAX.03(3835)0599
 大阪支店 06(6329)9833 札幌支店 011(751)8818
 福岡支店 092(643)9591

ニューロング業 ニ工

毎時360袋の高速化実現

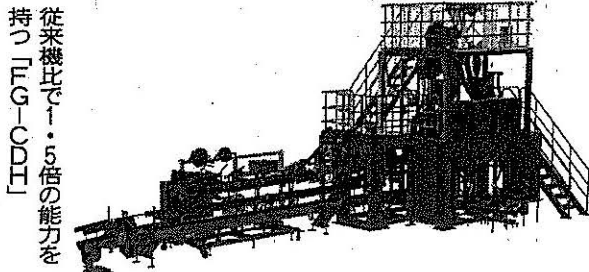
新型の大袋用粉体包装機を開発

ニューロング工業(東京都葛飾区、TEL.03・36003・2284)はこのほど、大幅な高速化を実現した大型袋用の充填包装機「FG-CDH」を開発し、大手食品会社の粉糖包装ラインに1号機を納入したことを明らかにした。従来機の1・5倍に当たる最大毎時360袋の能力を持つもので、高い充填精度などを維持しながら需要家の高速化ニーズに対応した。

業からは、コンタミの原因となる発塵が抑えられ、作業環境の改善が図れたことなども高く評価されているという。こうした高評価を受け、ニューロング工業では今後、国内外のさまざまな粉・粒体製品分野に新型機の提案を進めていく考えだ。

FG-CDHは、同粒体の特性上、充填工程に2袋を充填するダブルタイプ粉・粒体用給袋包装機だ。袋を上昇させて充填ノズルを袋内の底部に近づけてから粉・粒体を押し付けるように切り出し、袋を下降させながら充填する昇降充填方式を採用している。この方式は充填精度が高く、巻き上げによる塵埃が抑えられるという利点がある一方、粉・

粒体の特性上、充填工程の高速化には限界があった。そこで同社では充填後の袋の搬送工程に新機構(特許申請中)を採用し、トータルでの処理能力を高め、従来機(最大毎時240袋)と比べて50%の高速化を実現した。今回1号機を納入した食品会社では、販売好調な業務用粉糖製品(20kg袋)の増産のため包装ラインを更新設備した。昨年末から年明けにかけて入れ替え工事を完了し、旧設備の撤去から約半月という短期間で実生産に入った。現在は毎時300袋の速度で生産を行っている。



1号機は実生産においても高い充填精度を発揮しており、誤差はユーザーの要求レベル

従来機比で1.5倍の能力を持つ「FG-CDH」